

11月中旬に収穫される着色良好で貯蔵性が優れるりんご赤色品種「岩手4号」

【1 成果の概要】

品質・栽培特性に優れた岩手オリジナルりんごの晩生種の育成を目標として選抜を行い、11月中旬に収穫される着色良好で貯蔵性が優れる赤色品種「岩手4号」を選抜しました。

【2 岩手4号の特徴】

(1) 交配親

「ふじ」×「デリシャス」(1984年交配)

(2) 特性

- 樹姿・樹勢：中間・弱程度
- 開花期：開花始めが「ふじ」と同時期、満開日は1日程度遅い

- 収穫期：11月中旬
- 形状：円すい形
- 果重：280g程度(中玉)
- 果皮色：濃赤色～暗赤色で全面に着色

- 糖度：15%(Brix.)前後
- 酸度：0.29g/100ml前後
- 食味：酸が少なく甘みが強い
食味良好



特有の香りがあり、
果肉にはみつが入る

- 貯蔵性：普通冷蔵で約5か月程度と「ふじ」より長く、貯蔵性に優れています。

表 岩手4号の貯蔵果実品質(2009年)

調査日	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	みつ入り 指数	デンプン 指数
11月17日	329	17.0	15.3	0.32	2.9	3.1
3月9日	279	13.9	15.9	0.13	1.0	0.0
4月14日	252	13.3	15.4	0.12	1.0	0.0

【3 活用方法】

- (1) りんご晩生品種の多様化が図れます。
- (2) 果実の越年販売を拡充できます。

【4 留意事項】

- (1) 11月中～下旬にかけては硬度やデンプン指数はあまり変化せず、みつ入りは増加しますが、樹上凍結の恐れがある地域は遅採りしないよう注意してください。
- (2) 年により、つる割れが発生することがあります(発生程度は「ふじ」並と推察しています)。